八洲学園大学様
eラーニング事例ご紹介

eラーニングだけで卒業できる。
体系的に家庭教育学を学べる。

学校法人
八洲学園大学
生涯学習学部　家庭教育課程・人間開発教育過程

http://Study.jp/UNIV/Yashima/　http://Study.jp/School

八洲学園大学様ご紹介

■eラーニングで学ぶ

「eラーニングだけで卒業」を初めて実現。
学ぶ時間、学ぶ場所は自由であるべき、
と考えます。

2004年4月開学の八洲学園大学はeラーニングで全ての単位が履修でき、入学から授業履修、レポート提出、カウンセリング、クラブ活動まで全てのキャンパス生活にeラーニングを本格採用した正規大学です。

■家庭教育を学ぶ

家庭教育課程の目的は 家庭教育学」を築きあげること

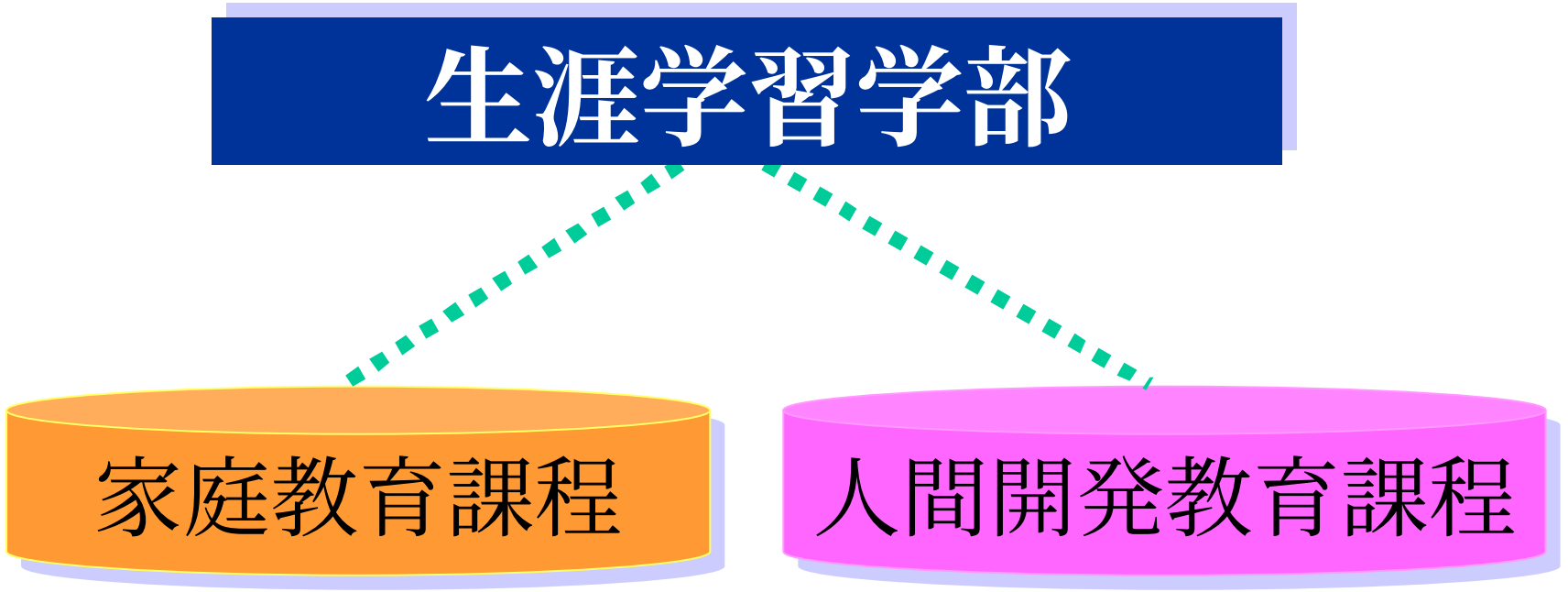
こういう趣旨の大学を実現するためには・・・

•主婦や社会人でも無理なく通えること。
•教育以外にコストをかけないこと。

⇒ eラーニングを採用

家庭教育はすべての教育の原点・出発点であるにもかかわらず、現代では学校教育と家庭教育は切り離され、少年非行や地域社会との関係不全、児童の不登校問題など、社会的に家庭教育機能は破綻を来たしつつあります。
『しつけの内容方法」や 倫理観」、生き甲斐論」、児童・少年心理学」など、これらの教育は幼稚園・保育園ではなく家庭による影響が大きいと言われています。
従来、これらはモザイク的な寄せ集めでしか研究されず総合的に見つめられることがほとんどありませんでした。
そこで、本課程ではこうした学問を総合的に探究し、家庭と学問を融合し、最終的には新しい 家庭教育学」の構築を目指します。

生涯学習学部



卒業までに取得する単位

	単　位　数	
共通基礎教育科目	20	両課程に共通な基礎科目
基幹科目	8	
共通専門教育科目	10	両課程に共通な専門科目
専門科目	46	
関連科目	28	所属課程の専門科目に関連する科目
自由科目	12	自由に選択して履修できる科目
計	124（30）	124単位の内30単位以上は スクーリング履修によるものとする

●履修上限　：半期25単位 年50単位
その他 履修規定」を熟読し学習計画を立てること

学費について

入　学　金	￥20,000
ＩＴ管理料	￥12,000（半期）
授　業　料	￥5,000（1単位）
科目修得試験料	￥1,000（1単位）
論文試験料	￥1,000（1単位）
スクーリング受講料	￥7,500（1単位）

別途デポジット金、教科書代等が必要です。

どうやって学習するの？

テキスト履修

1単位につき100ページ程度のテキストを用いた自学自習の学習方法

課題方式

テキストによる学習を行いながら、与えられた課題（択一式または記述式）に解答

論文方式

科目ごとにテキスト学習をしながら論文を作成します。

スクーリング

教員の講義を受ける面接授業(30単位以上)

スクーリング

本学に通学して教室で、教員から直接講義を受ける授業

自由に選択
(同一講義への参加方法)

メディアスクーリング

教室講義をインターネット経由でそのまま自宅で受講参加

ライブ講義配信

これを利用すると通学不要で卒業可能

ネット試験・ネットQ&A・電子会議室等授業支援

■期待の声

新しい学校の形態として注目する点が多いので、先駆けとなるよう飛躍してほしい。

現代社会において、人間教育の必要性があちらこちらで問われる中、本気で取り組んでいる教育機関がどれほどあるだろうか？そう考えたとき、人任せにするのではなく、自らが学び伝えていけたらと考えていた矢先、貴大学の存在を知りました。今後の展開に期待いたします。

新設なので面白い事が出来そう

正規の職業（福祉業界）を持つ傍ら、NPO法人での活動も行っています。今後の地域コミュニティーの推進とそれらに関わる地域住民などの人材育成・開発についてを学んでみたいと考えています。

私は現在、認可外の保育園に勤めています。私の園は相談室も併設しており、保護者の方をはじめ、お母さん方からの相談をお受けする機会が多々あります。未成年犯罪やいじめなど子どもをとりまく環境が問われている中、家庭に向けて具体的にどんなサインを送ればいいか。また保育者として子どもに対しどんなかかわり方をし、生きる力を与えられるか。少しでも具体的な方向を学んでみたい。

不登校、いじめ問題は、学校だけでなく企業にもあるので、そのようなことにならぬようどう取り組むべきか親としてどうすべきかなど勉強したいと思っております。

一人一人の生徒をしっかりと管理し、ITをいかし、いままでにない新しい大学を最先端で目指してほしいです。これからの、成長が楽しみです。

eラーニングへの着手に感謝しております。主婦の方や諸事情で大学での学習が困難な方々への希望の光になりうる存在であると堅く信じております。私は視力障害者ですが、なにかを学び自分を高めたいと言う気持ちは皆様と変わらないつもりです。

21世紀にふさわしい大学だと思います。明治以来の、選別を主体とする大学入試システムは、日本の教育を受験中心のゆがんだものにしてしまったのではないでしょうか。この改革の芽は、インターネットを活用した八洲学園大学にあるように思います。

今までありそうでなかった大学だと思います。いくつになっても本当に学びたい人のためにあり続けて欲しいです。

HPを閲覧させていただき、育児中の友人達に話をしましたが、とても関心が高く育児中に学習をしたいという母親が殆どでした。育児をしながら学ぶことができる大学という点も期待できたらなと思います。

仕事を持つ私には大きな壁だったスクーリングを新しい形で受けられることに強い期待を持っています

ITを利用した通信教育は、主婦にとってもまた、離島にとってもありがたいことです。ますますのIT利用した活躍を期待しています。

こんなに画期的な大学があることを知りませんでした。とてもワクワクしています。多くの卒業生の方が子育て支援など、子どもを取り巻く環境の中で活躍されることを願います。そのためにも大学側のサポートを期待したいです。

家事・育児、そして通学不可能な地域にすんでおりますので、eラーニングという方法で学べるということにとても感謝しています。インターネットを通じての先生方のご指導とサポートを期待しております。

家で学べる手軽さが勉強不足だった私の今の生活環境が少しでも前進できるといいなと思っています。

通信なので、直接お目にかかり伺う事が出来ないので、その精神的なフォローをお願いしたいと思います。

去年から育児をするようになり、今まで自由に学べたことの有難さを痛感しておりました。私のように今更大学など、、、と諦めている女性は本当に多いのです。他の分野の課程が増えることでより多くのことを学べる事を期待したいと思います。

家族を含めて周りの人を元気に、前向きにしてゆくためにはどうしたらよいかということを学んでみたい

私はどのような家庭教育をすることでどのように子どもが人格形成していくのかということについてとても興味があるので、そういうことについて学べるといいと思います。

子供の早期教育の効果と、子供のIQやEQの変化、早期教育の効果的な働きかけ。育児において、家庭のあり方や、育児をする親の心理的変化や環境変化、行動変容について、相関的に学習してみたいです。

■通常スクーリングカリキュラム

2007年秋学期

2006年秋学期通常スクーリング（日程表）

時限＼曜日	月 4A	月 5A	月 6A	月 5e
開講日	10/16、10/23、10/30、11/6、11/13、11/20、11/27、12/4、12/11、12/18、1/15、1/22、1/29、2/5、2/12、最終試験2/19			
1時限 9:00〜10:30				
2時限 10:40〜12:10	非行少年・犯罪者の処遇と対策（自由と遵法、規律、社会秩序形成と家庭教育含む） 村木保久			
3時限 13:00〜14:30		教育と法（教育基本法、社会教育関係法、地方教育行政組織運営法含む） 齋藤荘之助	乳幼児のしつけ（演習） 福田博子	
4時限 14:40〜16:10	論述力開発スキル演習1（自己課題） 石田 尊	現代の社会病理概論 望月 嵩	幼児教育思想史 福田博子	責任感と習慣形成（演習） 山下勝也
5時限 16:20〜17:50		ケーススタディ3（演習）「小学生の不登校」 生越詔二	保育実習2（幼児） 福田博子	伝統文化の継承1（演習）（和歌文学） 中田雅敏
6時限 18:30〜20:00	青年期の精神医学 笠原悦夫	文章論演習2（起・承・転・結） 石田 尊	生命尊重と家庭教育 渡邊達生	文学に表れた家庭・家族1（演習）（日本） 中田雅敏
7時限 20:10〜21:40				

時限＼曜日	火 4A	火 5A	火 6A	火 5e
開講日	10/10、10/17、10/24、10/31、11/7、11/14、11/21、11/28、12/5、12/12、12/19、1/9、1/16、1/23、1/30、最終試験2/20			
1時限 9:00〜10:30		日常生活と法（民法含む） 吉田新代	教育思想史概論 田中マリア	
2時限 10:40〜12:10	ケーススタディ4（演習）「中学生の不登校と生活環境」 赤沼幸子	福祉と法（障害者基本法含む） 吉田新代	教育史概論 田中マリア	中学校道徳教育と家庭教育 新宮弘識
3時限 13:00〜14:30	ケーススタディ6（演習）「中学生非行の前兆と対応」 赤沼幸子	礼儀と家庭教育 新宮弘識	人生観と進路指導（演習） 上條憤治	
4時限 14:40〜16:10	非行・犯罪の原因（演習） 赤沼幸子	公徳心の育成（演習） 関 巴	論理と思考順序論演習 石田 尊	
5時限 16:20〜17:50	伝統文化の継承3（演習）（祭事・行事） 秋吉正博	善悪意識の育成（演習） 関 巴	親と道徳教育教材論 田中マリア	生産業務効率化論演習1（現状→改革・改善論） 細野正昭
6時限 18:30〜20:00	日本家庭教育史（近代以後） 山本恒夫	ラピッドリーディング・スキル演習 石田 尊	家庭教育研究法概論 水野隆雄	現代社会と生涯学習 篠崎明子
7時限 20:10〜21:40	企業人物論演習（日本） 秋吉正博	資料組織演習 高鷲忠美	中学生のボランティア活動（演習） 江田英里香	

時限＼曜日	水 4A	水 5A	水 6A	水 5e
開講日	10/11、10/18、10/25、11/1、11/8、11/15、11/22、11/29、12/6、12/13、12/20、1/10、1/17、1/24、1/31、最終試験2/21			
1時限 9:00〜10:30	企業経営と企業統治（コーポレイト・ガバナンス）演習 清水豪	現代マネージメント概論演習（A） 沼倉佑栄	正義感の育成（演習） 石井雅之	
2時限 10:40〜12:10	言語と人間形成論 花井 清	アイディア発見・連想能力開発スキル演習1（語句から） 池田俊明	発達特性と習慣形成（演習） 生越詔二	才能・創造性の育成と家庭教育 渡辺一宏
3時限 13:00〜14:30	人材教育基礎論・システム論 吉川 國弘	伝統文化の継承4（演習）（茶道・華道） 花井初美	規範意識の育成 上條憤治	
4時限 14:40〜16:10		学校週5日制と家庭・学校・地域 齋藤荘之助	アイデア発見・連想能力開発スキル演習2（文章から） 百瀬光正	実践マーケティング 羽柴隆生
5時限 16:20〜17:50		文章・数字・数学的思考論演習 江川嘉美		
6時限 18:30〜20:00	テクノロジーの発達とヒューマニティ 山本 格	社会教育学新構想演習 浅井経子	生涯学習学新構想演習 山本恒夫	レファレンスサービス演習 1単位 情報検索演習 1単位 原田 伸一朗
7時限 20:10〜21:40	言語環境と人間 山本 格	文章論演習1（主題・構想・叙述） 石田 尊	アイデア発見・連想能力開発スキル演習3（物・論理から） 後出 大	生涯学習学研究法演習 篠崎明子

時限＼曜日	木 4A	木 5A	木 6A	木 5e
開講日	10/12、10/19、10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、12/7、12/14、12/21、1/11、1/18、1/25、2/1、2/8、最終試験2/22			
1時限 9:00〜10:30			自律の精神と家庭教育 田中マリア	
2時限 10:40〜12:10	高校教育の改革と中高一貫教育 上條憤治	カウンセリング3（演習）（中学生と親） 小宮都子	ケーススタディ1（演習）「幼児の体罰と虐待」 赤沼幸子	文章図式化論演習（図表含む） 見角鋭二
3時限 13:00〜14:30	論述力開発スキル演習2（社是・人事論等） 見角鋭二	親子関係論 小宮都子		
4時限 14:40〜16:10	現代日本企業概論演習 阿部和義	リーディングアビリティ開発スキル演習2（理論関係書の要約・箇条書き） 石田 尊	ケーススタディ5（演習）「中学生〈きれる〉の要因分析」 赤沼幸子	
5時限 16:20〜17:50	教育カウンセリング（演習） 岸 俊彦	ものの見方・考え方演習3（西欧資料） 水野隆雄	ケーススタディ8（演習）「高校生非行の実態と要因分析」 赤沼幸子	家庭教育基本方針（家訓）の確立（演習） 高橋 進
6時限 18:30〜20:00	地域開発・都市経営概論演習 塙 武郎	家庭教育学新構想 水野隆雄	児童期の発達と医科生理学（演習） 笠原悦夫	伝統文化の継承2（演習）（俳諧文学） 中田雅敏
7時限 20:10〜21:40	財政学概論演習 塙 武郎	ボランティア・文化体験活動育成（演習） 江田英里香	日本民俗宗教概論（演習） 平良 直	

時限＼曜日	金 4A	金 5A	金 6A	金 5e
開講日	10/13、10/20、10/27、11/10、11/17、11/24、12/1、12/8、12/15、12/22、1/12、1/19、1/26、2/2、2/9、最終試験2/23			
1時限 9:00〜10:30	レファレンスサービス演習 1単位 情報検索演習 1単位 藤田節子		カウンセリング2（演習）（小学生と親） 生越詔二	
2時限 10:40〜12:10	リーディングアビリティ開発スキル演習1（業務報告書要約・箇条書き） 金平敬之助	公共精神の育成（演習） 石井雅之	ケーススタディ2（演習）「小学生の問題行動の実態と対応」 生越詔二	情操教育と家庭教育 花井 清
3時限 13:00〜14:30	企業人物論演習（西欧） 人見諭典	幼児教育学概論 福田博子		
4時限 14:40〜16:10		身体運動文化概論 大石純子	地方分権と教育 齋藤荘之助	
5時限 16:20〜17:50		中高生の武道スポーツと人間形成（演習） 大石純子	乳幼児の食生活 川越淑江	
6時限 18:30〜20:00	現代マネージメント概論演習（B） 沼倉佑栄	資料組織演習 田嶋知宏	親子の信頼関係 川越淑江	
7時限 20:10〜21:40				

通常96+週末＋集中講義、すべての授業をライブ講義配信

八洲学園大学eラーニングシステム ご紹介

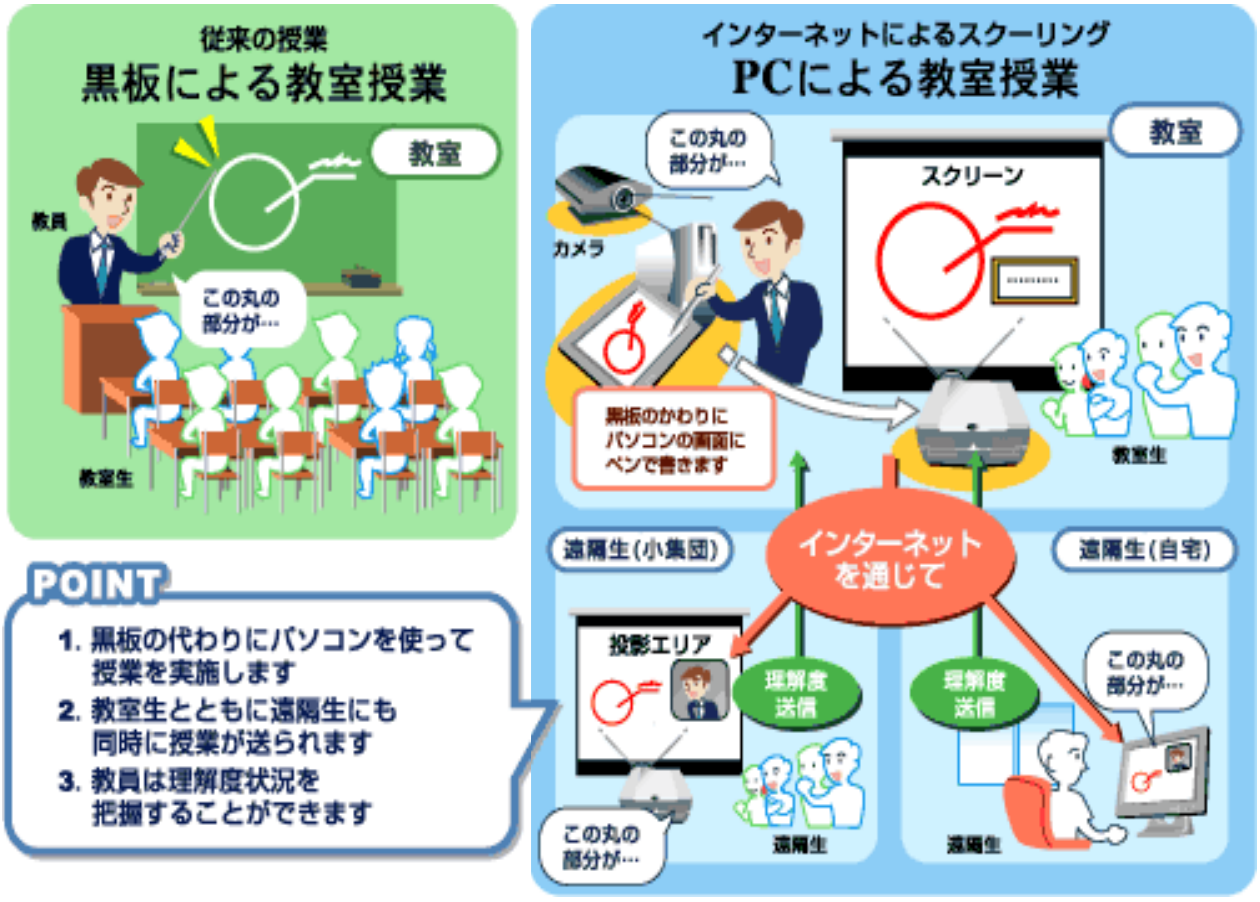
1. ライブ遠隔授業配信
2. スクールマネジメントシステム(SMS)
3. SMS 7つの特徴

1. ライブ遠隔授業配信
Study.jp /Live!のご紹介

Study for School jp /Live!
～ネット上のセミナールームレンタルサービス～

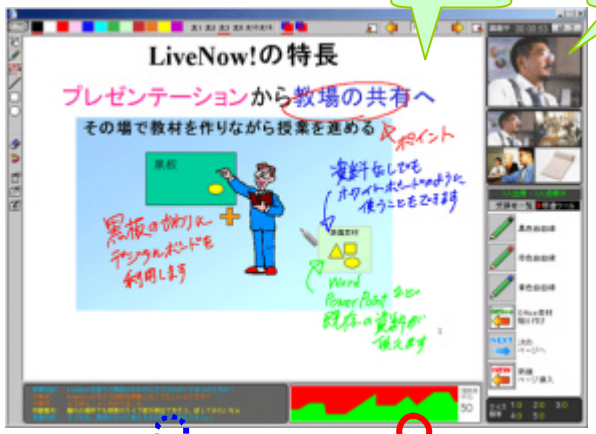
ライブ講義配信とは

学内で行うスクーリングを、インターネットを介すことで
遠隔地でもそのまま受講することができます。

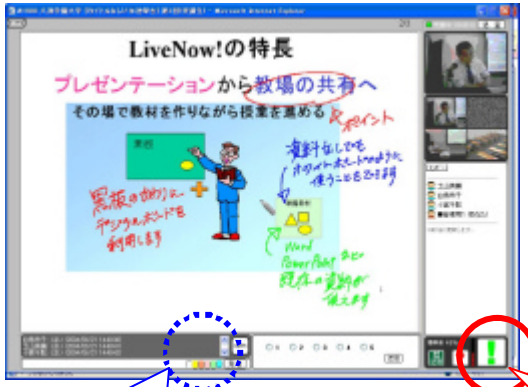


■メディアスクーリング

大学



ライブ



発言・質問

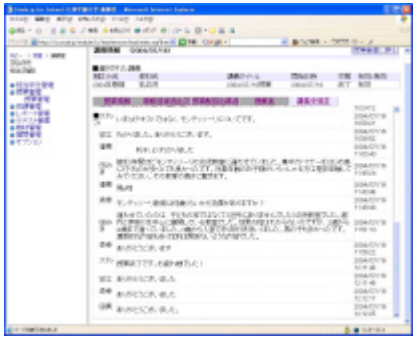
理解度表現

家庭

出席把握

理解度推移把握

授業中発言把握

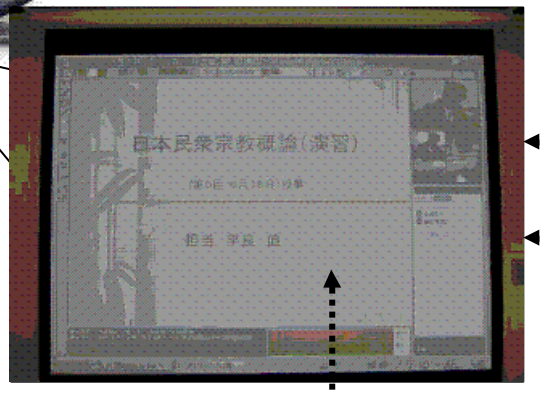


ライブ講義配信とは

•遠隔地への指導を講師を 派遣」せずに 気軽」に行える。
•受講者が研修のために 出張」する必要がない。
•遠隔地と教室にいる双方の受講者が 同時に」受講できる。

講義方法

講師のパソコン画面



①．チョークのように書けます！

②．紙媒体を配信

既存の紙
資料など

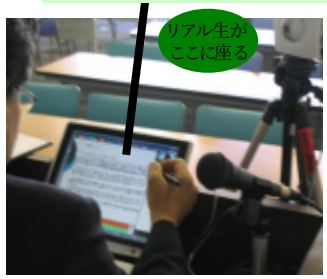
③．PowerPointで教材を作っておけば
講義で表示させることができます！

ポイント

①黒板に板書をするように、パソコン画面上にペンで書き込めます・・通常の講義と同一
②既存の紙資料などを黒板に貼り出すように、配信可能。
③PowerPointで作成した教材をそのまま利用可能

講義風景

講師の操作するPC画面。操作はマウスの代わりにペンを利用



講義操作している風景

講師とプロジェクタと受講者の関係。リアル生はスクリーンを見る

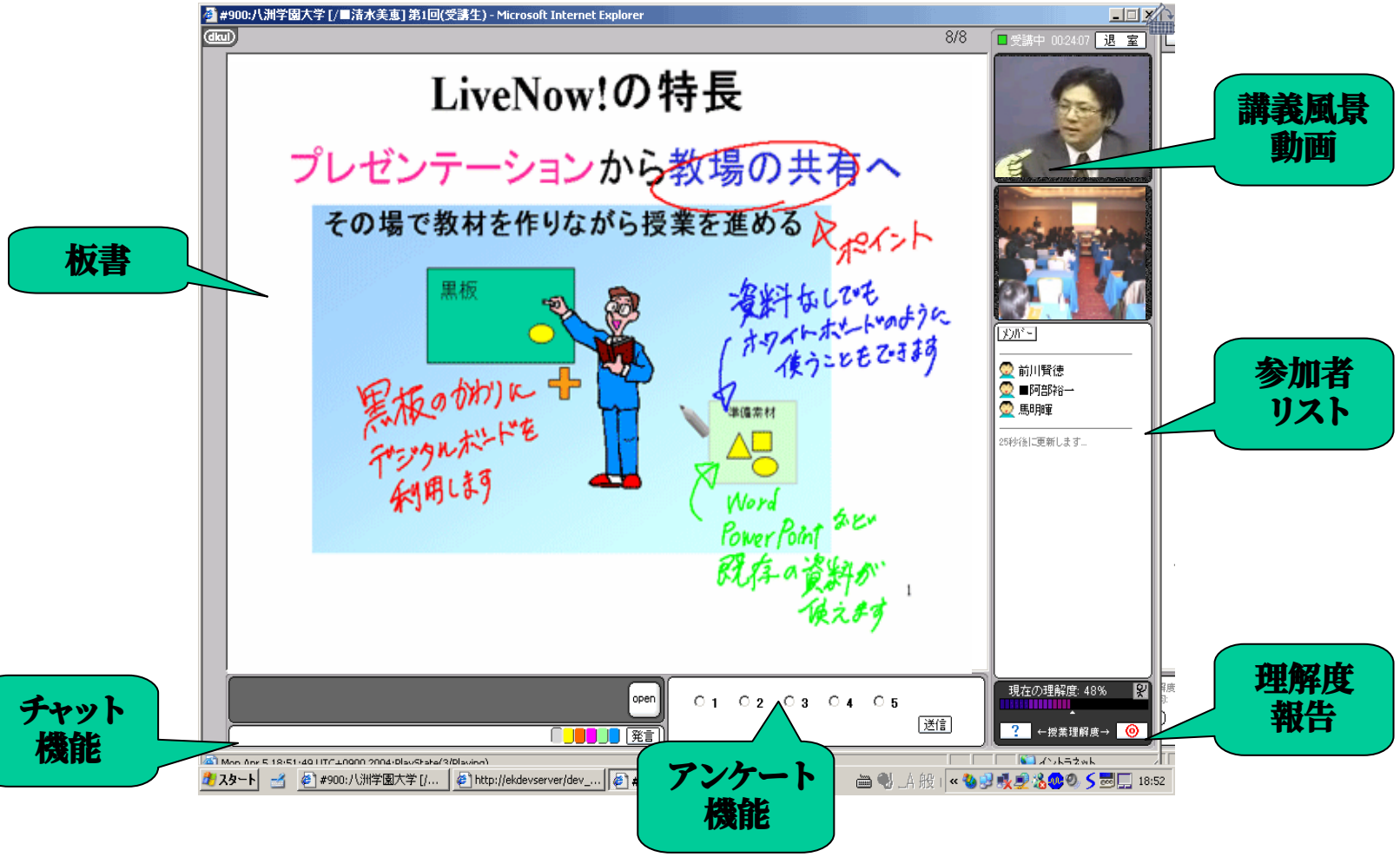
講師の講義環境（PC周り）

講義風景

講師は「リアル生」と「遠隔生」に対して板書をしながら講義を実施する。遠隔生を意識するために「出席者一覧」「発言エリア」「理解度グラフ」などを見ながらの授業となる。

通常の講義を行うのと同じ感覚で講義を行うだけで、ライブ配信が行えます。

受講者の画面



- 黒板の板書、講義風景の映像／音声などを配信、質問、理解度のフィードバックを行えます。
- 必要な機材はインターネットに接続したパソコン、スピーカのみです。

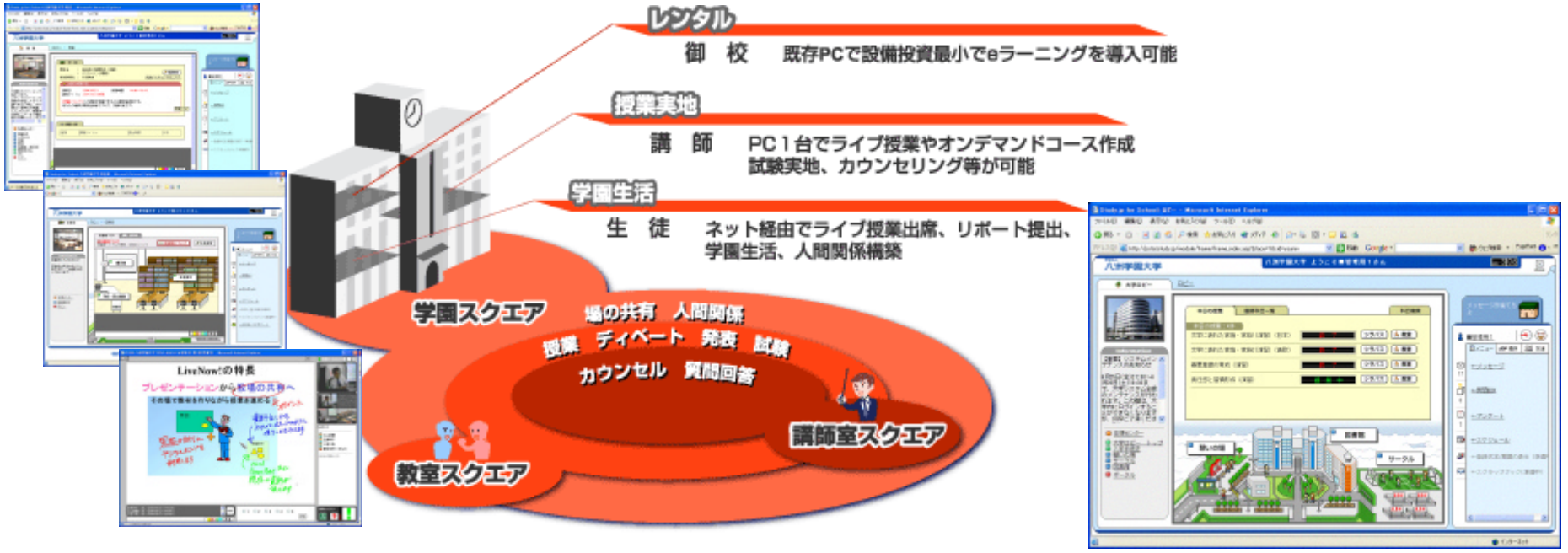
1. スクールマネジメントシステム (SMS) Study.jp for Schoolのご紹介

Study.jp for School
入学から卒業まで、教育に必要な全ての学園機能を持つ
ワンストッププラットフォーム

eラーニング大学を支える、大学の持つ機能すべてを提供する
バーチャルユニバーシティプラットフォームです。
ユニット機能の切り出し利用が可能であるため、通学制の大学
のあらゆるニーズにも適用可能です。

■自宅がキャンパス

キャンパス生活に必要な全ての機能をもつeラーニングシステム



教　室

各科目別に教室があり、受講する[学生]が集まります。授業参加、課題提出、シラバスの閲覧、掲示板利用が可能です。

講師室

講師への質問や相談が出来ます。また、FAQ等の閲覧が可能です。

課題、レポート

Web上で課題の提出、添削が可能なので、より短時間で結果を確認することが出来ます。

授　業

実際の授業をリアルタイムで他の受講生と同時に受講できます。また、いつでもオンデマンドで受講が可能です。

学務事務局

履修登録、授業の参加申し込み、証明書発行依頼等を行う事ができます。

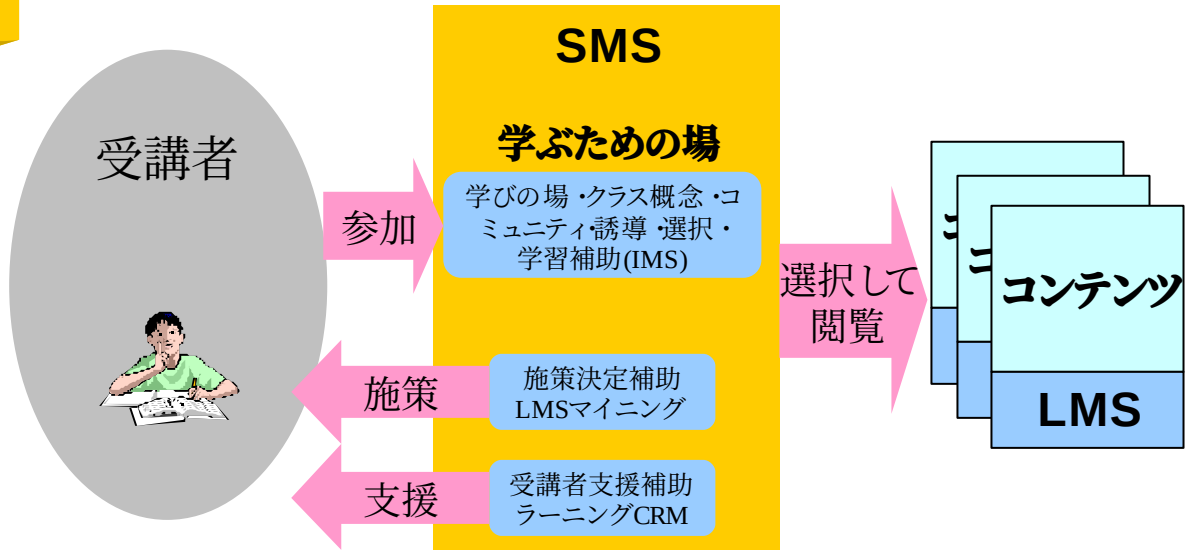
コミュニケーション

チャット、メッセージ、掲示板などを利用して、学生同士や教員とのコミュニケーションが可能です。

通信教育から学校へ

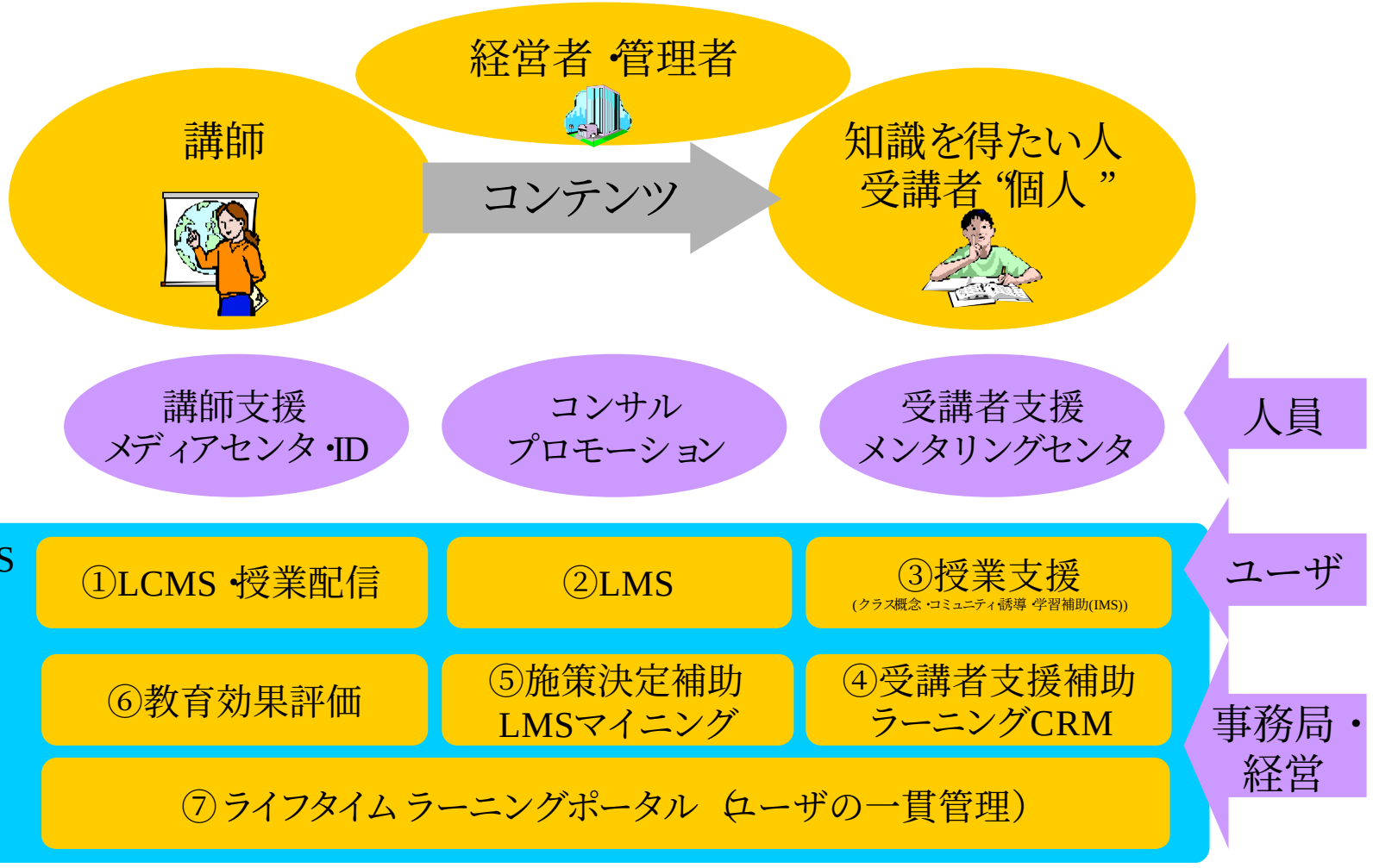
Web上の通信教育

Web上の学校



Web上の学校(SMS)のもつ機能

（LMSからSMSへの拡張）



③授業支援

授業に関連しての 学びを支援する」のための環境です。

- クラス 期の概念
- 学習補助 議論、発表の場、資料提示、Q&A）
- コミュニティ
- 学びへの誘導策 所属感）

学び方は紙でも教室でも良い

学習支援機能

各科目別に教室があり、受講する[学生]が集まります。授業参加、課題提出、シラバスの閲覧、掲示板利用が可能です。

講師への質問や相談が出来ます。また、FAQ等の閲覧が可能です。

Web上で課題の提出、添削が可能なので、より短時間で結果を確認することが出来ます。

履修登録、授業の参加申し込み、証明書発行依頼等を行う事ができます。

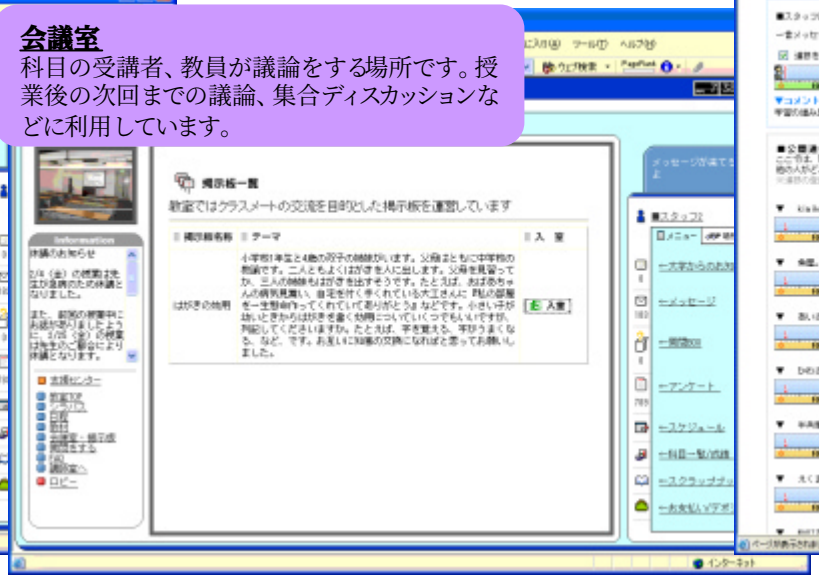
チャット、メッセージ、掲示板などを利用して、学生同士や教員とのコミュニケーションが可能です。

事例 :大学で学ぶ事の中でスクーリングは10%程度、教員やクラスメイトとの議論が大半であると考える教員もいる。

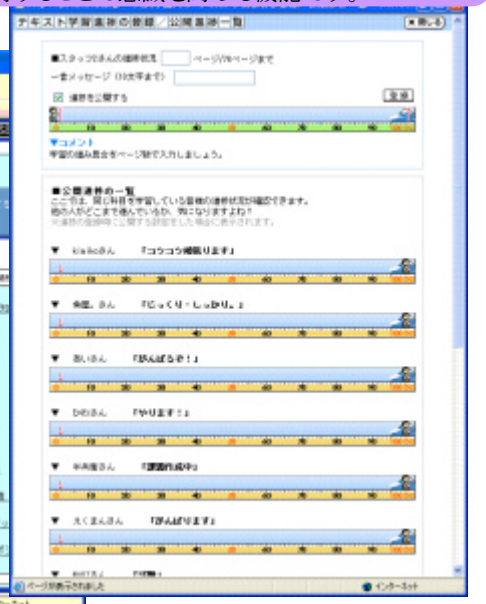
③授業支援一部画面例

ある科目の教室トップメニュー
その科目を学習するためのベースです。アンケート、レポート提出、試験、ミニテスト機能など教員から出された課題へのボタンが現れます。

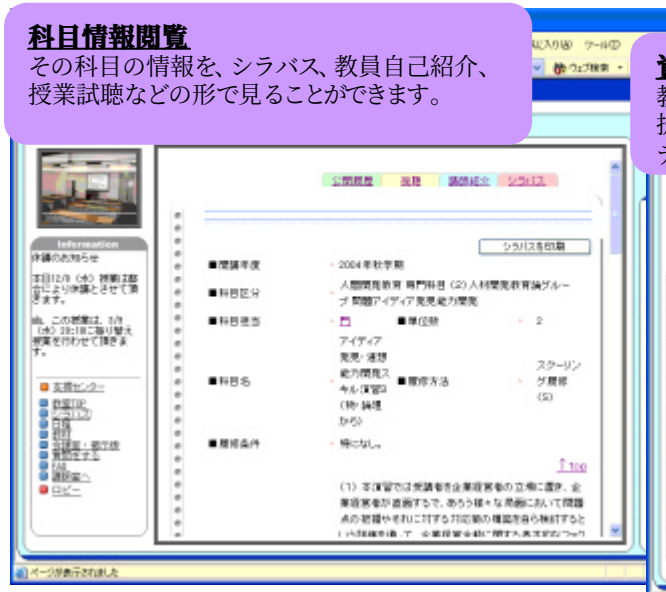
会議室
科目の受講者、教員が議論をする場所です。授業後の次回までの議論、集合ディスカッションなどに利用しています。



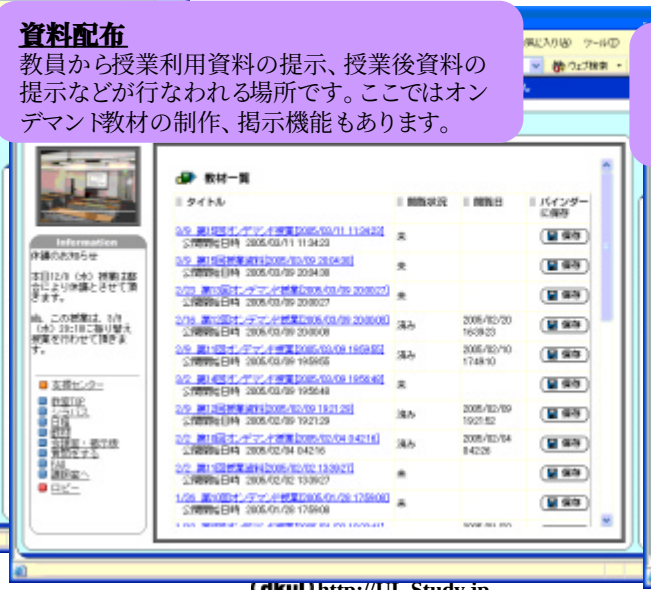
テキスト履修進捗
遠隔地でそれぞれに学習しているテキストによる学習の進捗を、受講者間でコメント付きで共有することで意識を高める機能です。



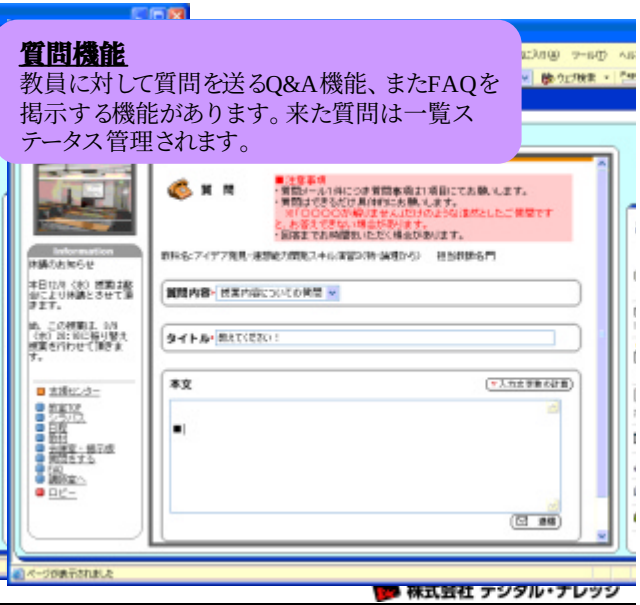
科目情報閲覧
その科目の情報を、シラバス、教員自己紹介、授業試聴などの形で見ることができます。



資料配布
教員から授業利用資料の提示、授業後資料の提示などが行なわれる場所です。ここではオンデマンド教材の制作、掲示機能もあります。



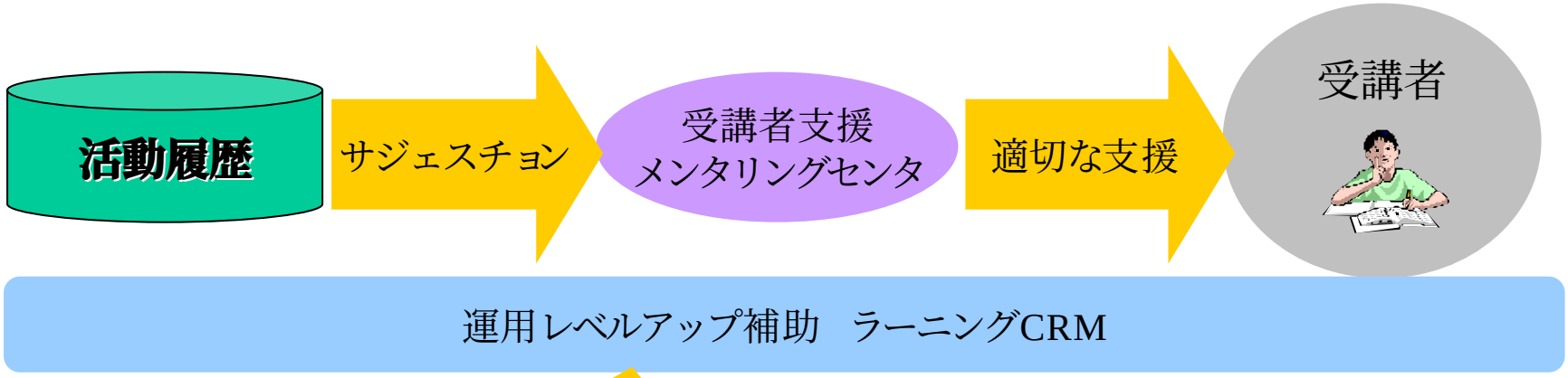
質問機能
教員に対して質問を送るQ&A機能、またFAQを掲示する機能があります。来た質問は一覧ステータス管理されます。



④高度な受講者支援へ（ラーニングCRM）

運用のレベルアップを半自動化

SMS上で累積される学校活動履歴を分析し、
日々のやるべき受講者支援を自動でサジェスチョンする

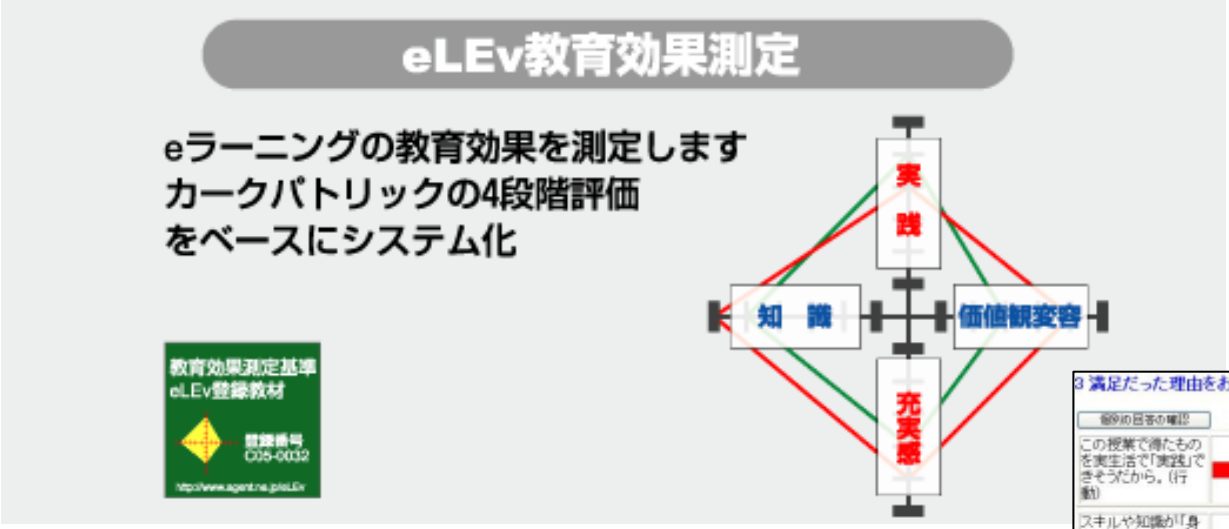


- 回答期限者一覧
- ドロップアウト候補一覧
- モチベーションアクション候補一覧
- 学生カルテ
- メッセージ整理、記録

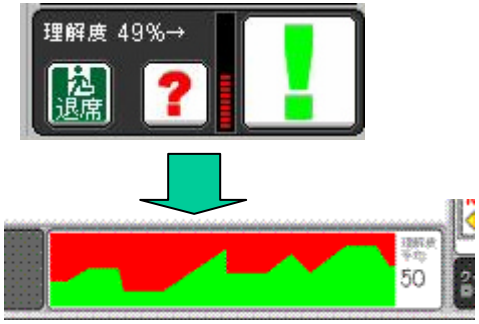
学生カルテはユーザの情報を一貫管理。学生からの質問時などにもその学生が普段どのような行動をしていたのかを把握しながら支援できる。

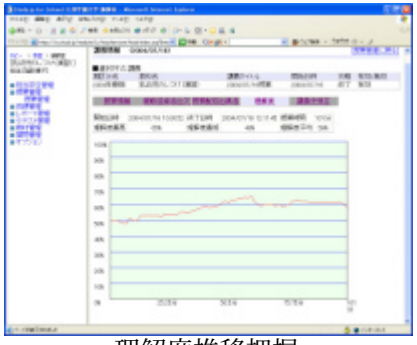
⑤教育効果測定

授業後にアンケートを自動採取。この結果を教員や学生、検討生にフィードバック



スクーリング中の理解度フィードバック

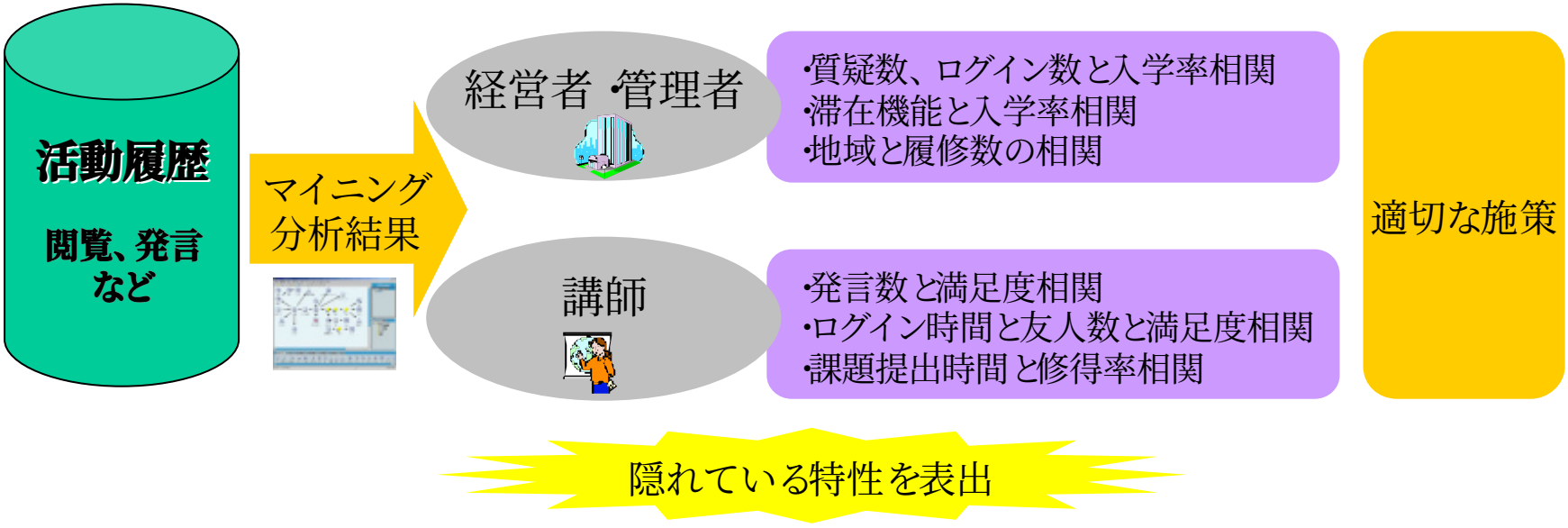




理解度推移把握

⑥施策決定支援へ（LMSマイニング）

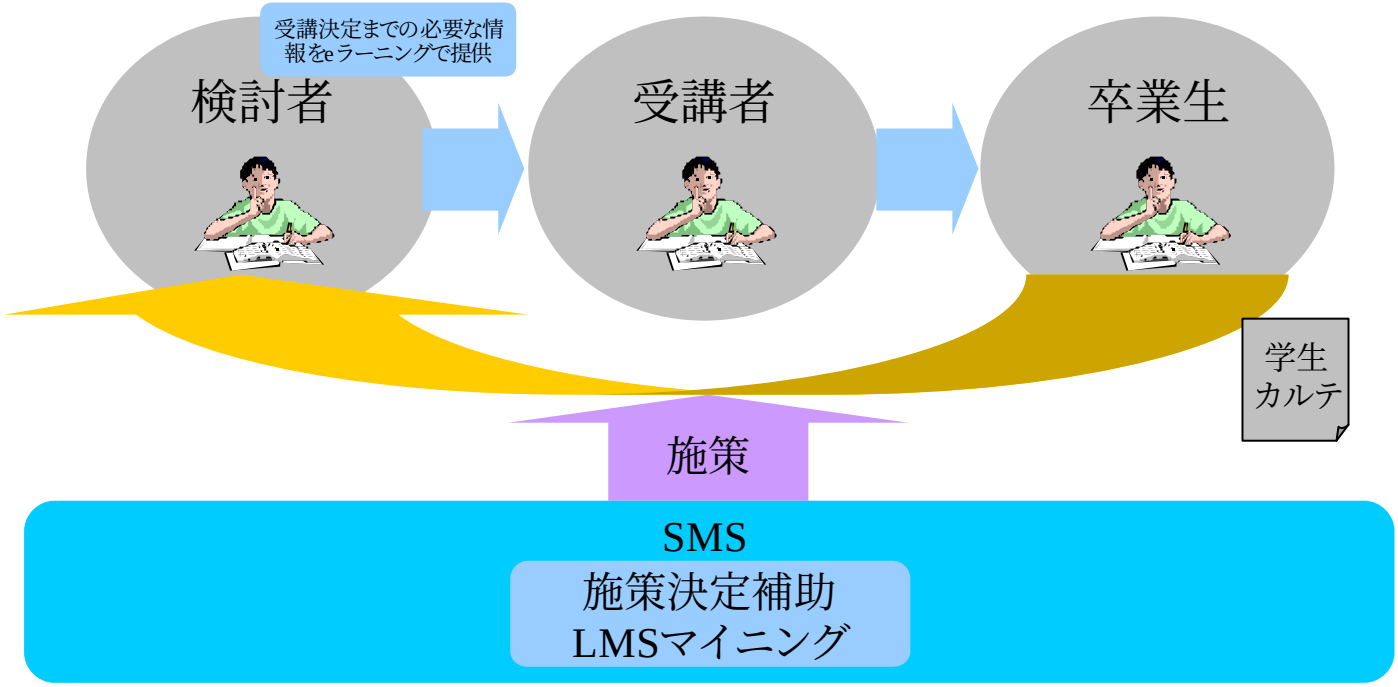
累積される活動履歴を分析し、施策を導き出す分析へ活用



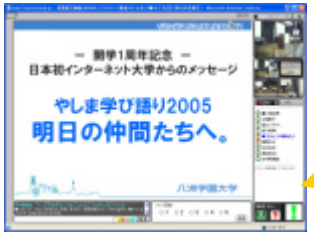
これを実現するためにも、学生の全ての活動をWeb上に移行していく。

⑦検討時から卒業後まで（ライフタイムラーニングポータル）

eラーニングの学びの場にて、オープンカレッジなどプロモーション活動を実施、
卒業後もここに属し、追加で学ぶ講座をサジェスチョンしていく。



eラーニングの範囲がプロモーションまで拡大→



オープンキャンパスや資料提示などのプロモーションもSMS上で実施

新しいeラーニングコンセプト（SMS）

LMSから、『スクールマネジメントシステム（SMS）』へ
（学ぶ仕組みから、スクールの経営基盤へ）

・教材そのものではなく、学ぶための場を提供
すべての学生の活動をWeb上に
（単なる教材＋履歴のeラーニングから、学習の場へ）
（学びの場 ・クラス概念 ・コミュニティ ・誘導 ・選択 ・IMS）

学び方は紙でも教室でも良い

・LMSマイニング
SMS上で累積される学校活動履歴を分析し、
施策を導き出す分析へ利用

・ラーニングCRM
SMS上で累積される学校活動履歴を分析し、
日々のやるべき受講者支援を自動でサジェスチョンする

（学びの場を実現し、履歴を分析利用して施策立案し、支援をするための環境とする）

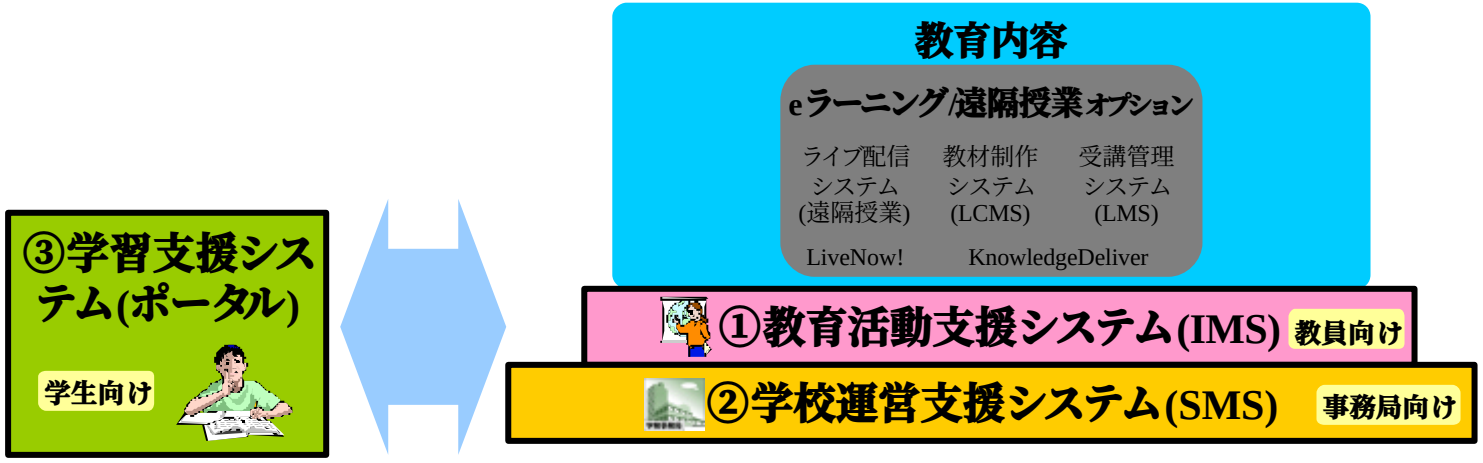
3. SMS 7つの特長

Study.jp forSchool
入学から卒業まで、教育に必要な全ての学園機能を持つ
ワンストッププラットフォーム

1)eラーニングだけでも、IMSだけでもありません

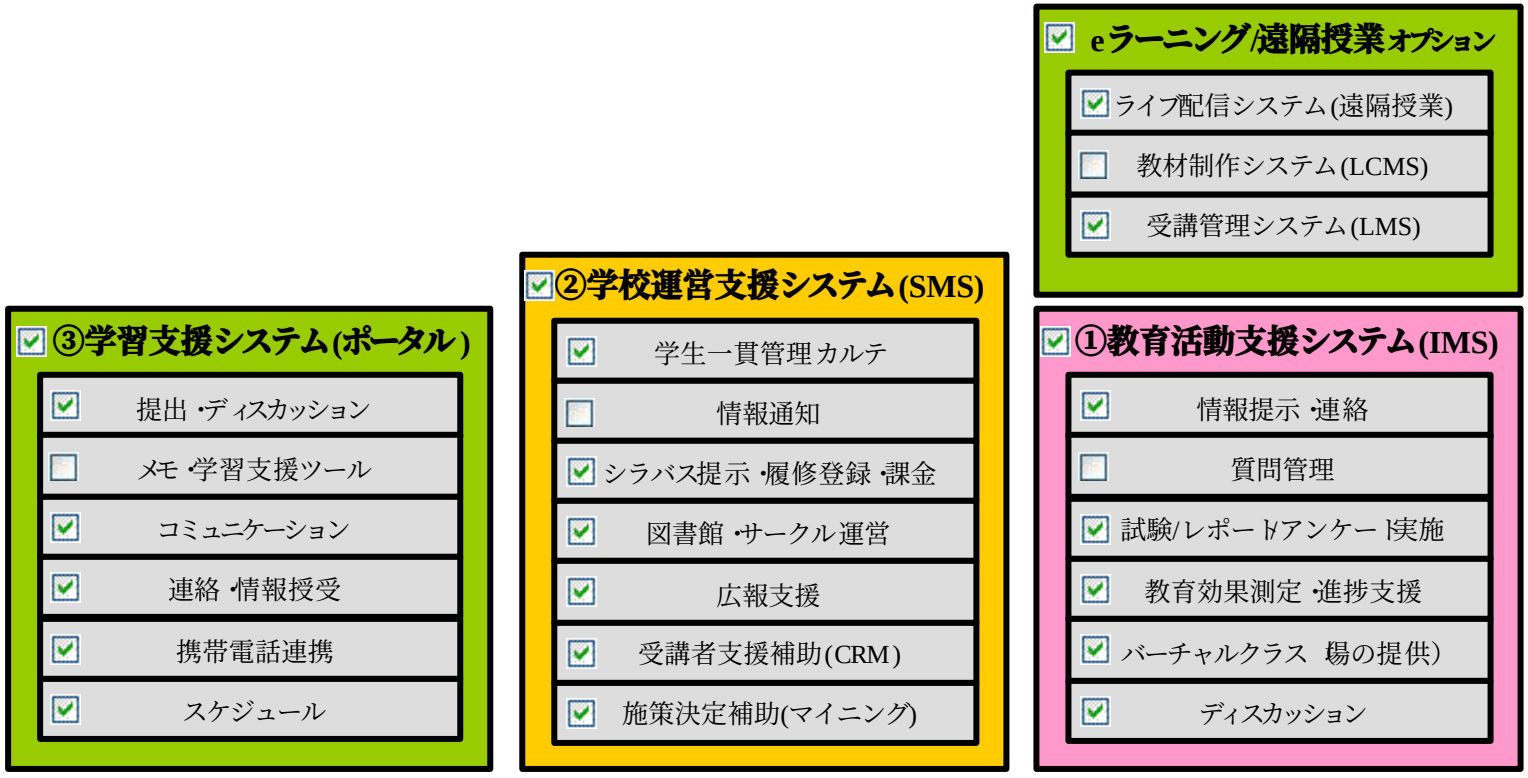
eラーニングが学びに関わる仕組みであることに対し、Study.jp for Schoolは学びだけでは無く、教員向けの教育活動支援や、事務局向けの学校運営システム、学生のポータル機能を有する、新しい時代の学校プラットフォームです。

eラーニングによる学習、補習機会の提供に留まらず、教育環境の整備、学校運用の支援機能をもつことで、トータルで効果的な環境整備をすることができます。



2)小さく始め、かつ、高い拡張性を確保

学校のニーズは個々に異なり、かつ将来の発展方向性は捕らえきれないものです。
Study.jp for SchoolではIMS/SMS/ポータル/eラーニングの大きな単位で取捨選択、追加することができるのはもちろん、その中の個別機能も取捨選択、追加することで、貴校の利用進度に合わせて導入することができます。



3) オリジナルカスタマイズも可能

貴校独自のニーズにソフトウェアの修正で対応することができます。学生向け画面、履歴の採取方法、分析方法、課金等・・・あらゆる独自のニーズに対応することで、本当に活用される仕組みを導入することができます。

4)高いレベルの運用実績

本システムは、日本で初めてのeラーニングライブ配信を面接授業として認める大学の設立に際し、設置申請時から採用された仕組みです。

また、毎日の授業配信はもちろん、全学生、全教員、事務局が日々の活動のベースとして運用されている仕組みです。

設置申請書 http://notes.yashima.ac.jp/daigaku.nsf/sinsei

月曜	教室名	学期	授業科目名
2時限	4A	春 秋	文学に表れた家庭 -家族１ 演習）日本） 2単位
3時限	4A	春 秋	文学に表れた家庭 -家族２ 演習）西欧） 2単位
	5A	春 秋	善悪意識の育成 演習） 2単位
4時限	4A	春 秋	責任感と習慣形成 演習） 2単位
火曜			
1時限			
2時限	4A	春 秋	芸能と人間形成論 2単位
	4B	秋	構想力開発論 2単位
	5A	春 秋	礼儀と家庭教育 2単位
	6A	春 秋	人生観と進路指導 演習） 2単位
3時限	6A	春 秋	ケーススタディ１ 演習）幼児の体罰と虐待」 2単位
4時限	4A	春 秋	生産業務効率化論演習１ 現状→改革 -改善論） 2単位
	4B	秋	人生と生きがい論 2単位
	5A	春 秋	教育と法 教育基本法、社会教育関係法、地方教育行政組織運営法含む） 2単位
	6A	春 秋	ケーススタディ５ 演習）中学生＜きれる＞の要因分析 2単位
水曜			
1時限	4A	春 秋	文章 -数学 -数学的思考論演習 2単位
2時限	5A	秋	規範意識の育成 2単位
4時限	4A	春 秋	アイデア発見 -連想能力開発スキル演習２ 文章から） 2単位
	5A	春 秋	プレゼンテーション -スキル演習 組織論 -経営論報告提案） 2単位
7時限	4A	春 秋	アイデア発見 -連想能力開発スキル演習３ 数 -論理から） 2単位
木曜			
2時限	4A	春 秋	発達特性と習慣形成 演習） 2単位
3時限	5A	春 秋	論述力開発スキル演習２ 社是 -人事論等） 2単位
4時限	4A	秋	学校週 5日制と家庭 学校 -地域 2単位
金曜			
1時限	4A	春 秋	レファレンスサービス演習 1単位
2時限	4A	春 秋	正義感の育成 演習） 2単位
	5A	春 秋	乳幼児のしつけ 演習） 2単位
3時限	4A	春 秋	リーディングアビリテ -開発スキル演習１ 業務報告書要約 -箇条書き） 2単位
	5A	秋	小学校道徳教育と家庭教育 2単位
4時限	4A	春 秋	日本民衆宗教概論 演習） 2単位
6時限	4A	春 秋	親と道徳教育教材論 2単位

2004年4月開学の八洲学園大学はeラーニングで全ての単位が履修でき、入学から授業履修、レポート提出、カウンセリング、クラブ活動まで全てのキャンパス生活にeラーニングを本格採用した正規大学です。

5)LMS,LCMSもオプションでシームレスに追加可能

Knowledge Deliver

オンデマンドeラーニングを利用される方には、Knowledge Deliverがオプションでシームレスに追加できます。Knowledge Deliverはスケーラビリティ豊かで、実績豊富な統合型eラーニングプラットフォームです。SCORM1.2認定済のLMS（受講管理）のみならず、教材オーサリングツール（コンテンツ作成）とLCMS(コンテンツ管理)、ラーニングポータルをシームレスなWeb環境で提供します。

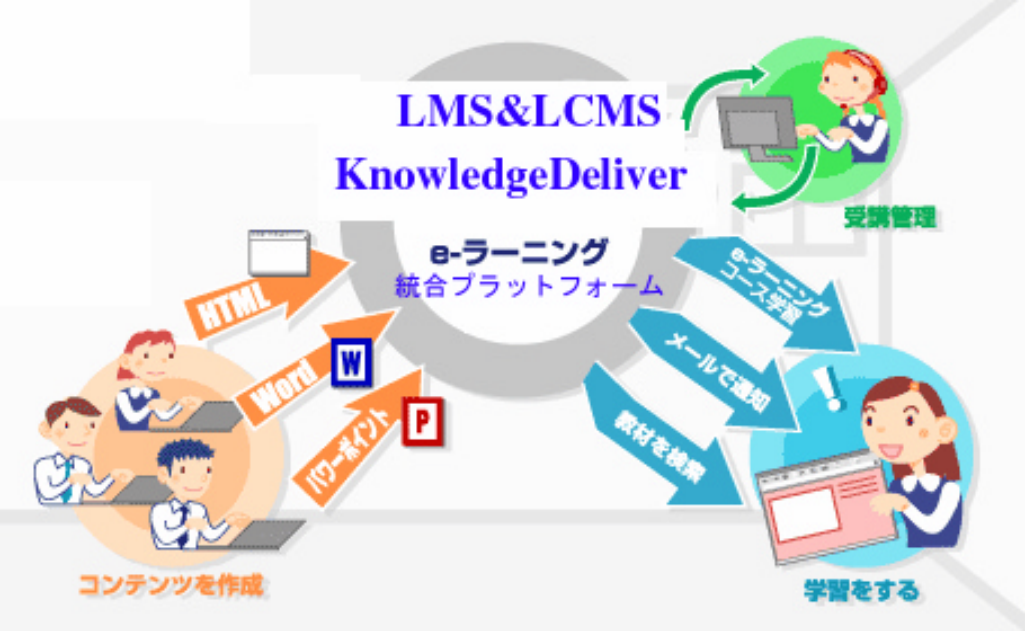
オンデマンドeラーニングのキーポイントはコンテンツです。受講管理のみでなくコンテンツ作成・管理・配信機能が統合されたことによって、大きな効果を上げるeラーニングを実現します。またSCORM1.2準拠のため市販のコンテンツを利用することも可能です。

LMS

LCMS

ラーニングポータル

教材オーサリングツール

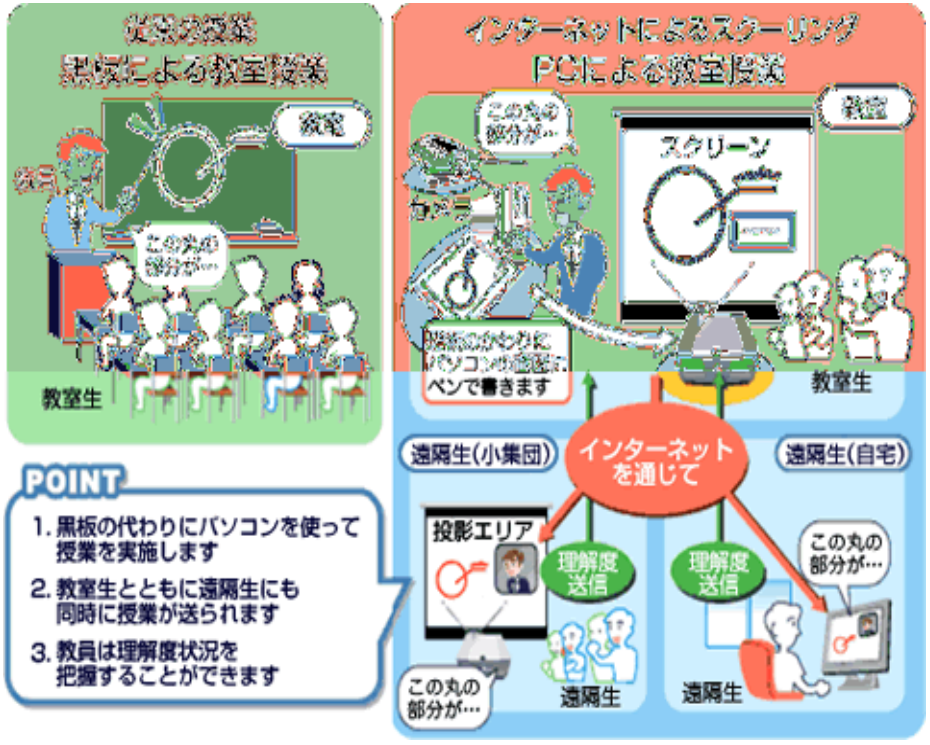


6)遠隔授業もオプションでシームレスに追加可能

Live Now!

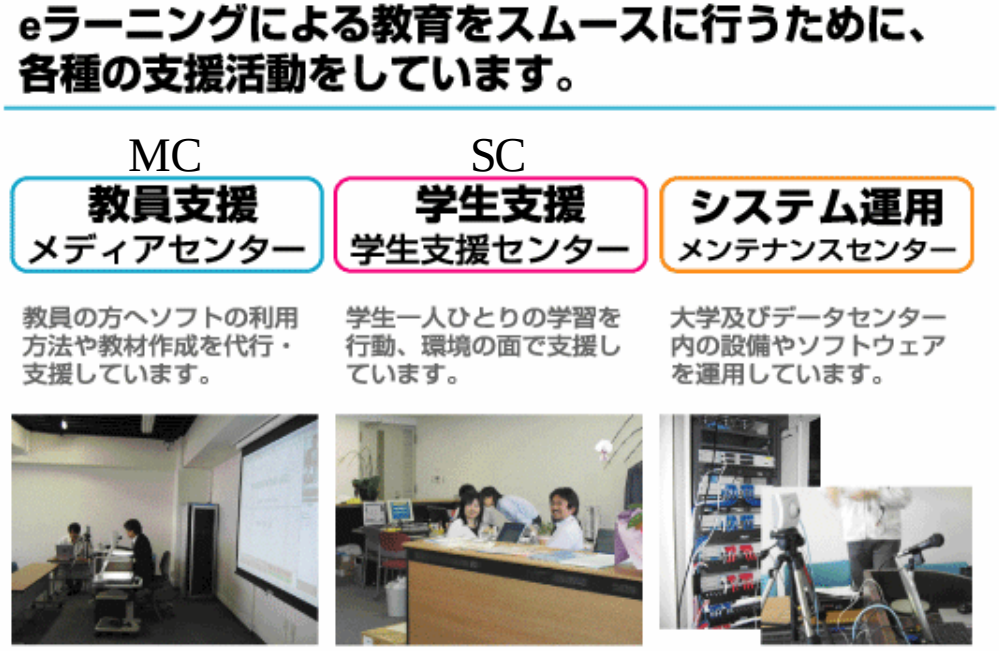
ライブ講義配信を利用される方には、LiveNow!がオプションでシームレスに追加できます。LiveNow!は教室授業をそのまま家庭や遠隔の教室に配信できる仕組みです。

LiveNow!で配信した授業は出席管理などシームレスに連動しています。また、配信した授業をオンデマンドで閲覧することも可能です。



7)運用のご支援もアウトソースで提供できます。

eラーニングの成功はシステムや設備だけではもちろん実現できません。
教員の皆様や学生に対してその有効な利用をしっかり促進すること。これを御校の内部に入ってお請けするのが「運用支援アウトソースメニュー」です。
弊社では大学におけるeラーニングの教材制作、助手、運用、適用、評価プロセスを熟知しているスタッフを、実際に八洲学園大学様等に派遣しております。
メーカが責任をもって派遣するスタッフによる運用サービスをご検討ください。



システム運用のご紹介

◎システム運用センター

eラーニングによる教育をスムースに行うために、各種の支援活動をしています。

教師・講師

横浜校舎から教員の先生がわかりやすく授業をいたします。インターネットを使えば、自宅からも授業に参加でき、質問や先生とのやりとりも可能になります。

授業等

学生

教員の授業実施をサポート

メディアセンター

教員に対してインターネットを利用した効果的授業の方法を支援します。また、授業を欠席してしまった場合や、再度復習をしたい場合に備えて、オン・デマンド授業コンテンツを配信します。

助手

教員のパソコン操作を補佐します。

充実した大学生活を強力サポート

学生支援センター

■担当サポータ

クラス担任として、学生の支援をいたします。その後は、個別に卒業までみなさんをサポートいたします。また、履修登録、授業の参加申し込み、証明書発行依頼等の依頼や、各種事務の窓口となります。

■コミュニティ担当

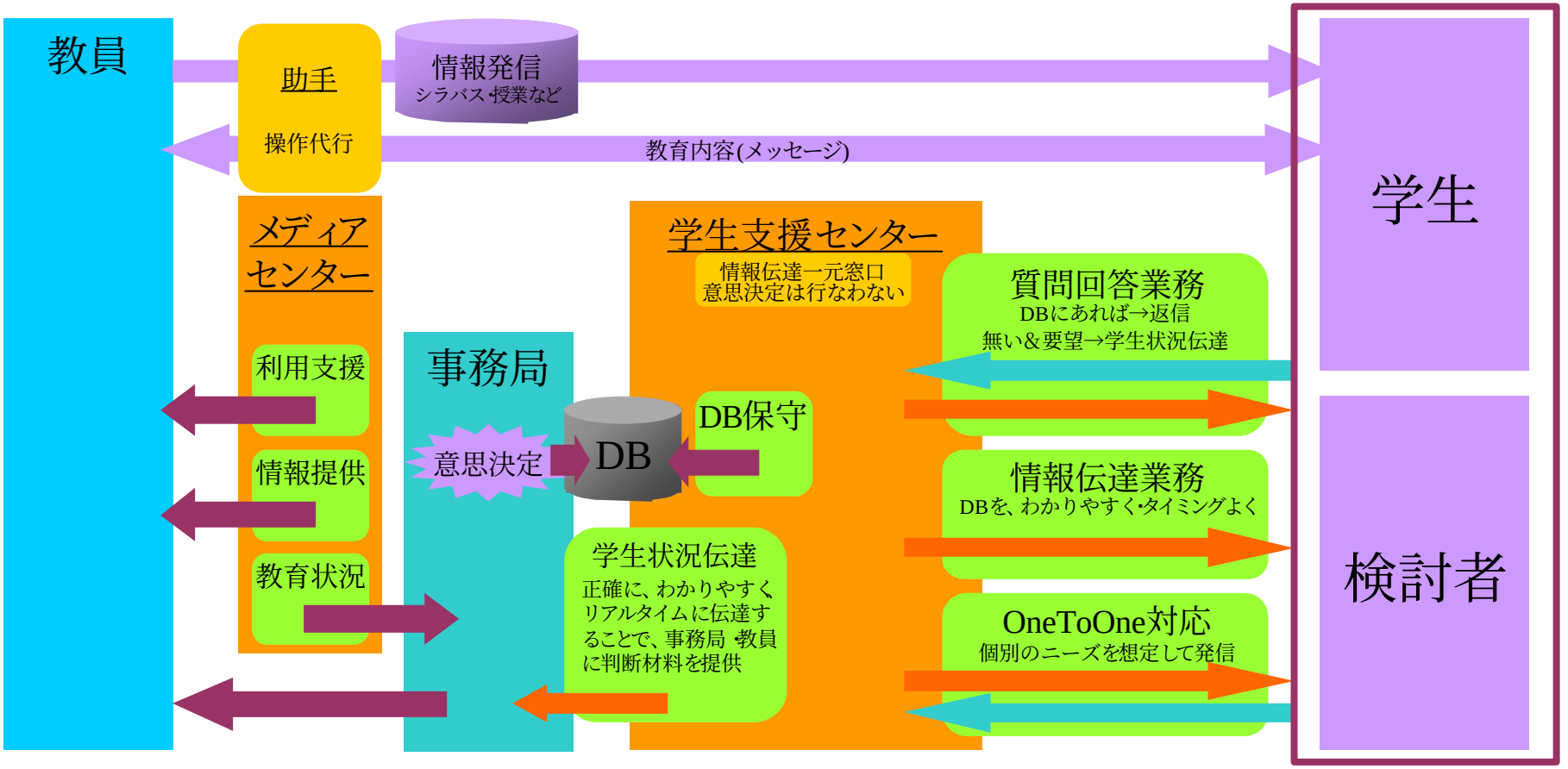
学生間の交流をサポート致します。学内イベントの企画や、サークル活動を積極的に支援いたします。

メンテナンスセンター

学生のみなさんが快適に授業を受けられるように、学内コンピュータや校内ネットワークの保守・管理をいたします。授業配信システムの保守・管理もいたします。

※DKUL社からの常駐社員により運営しています。

システム運用センターの位置づけ

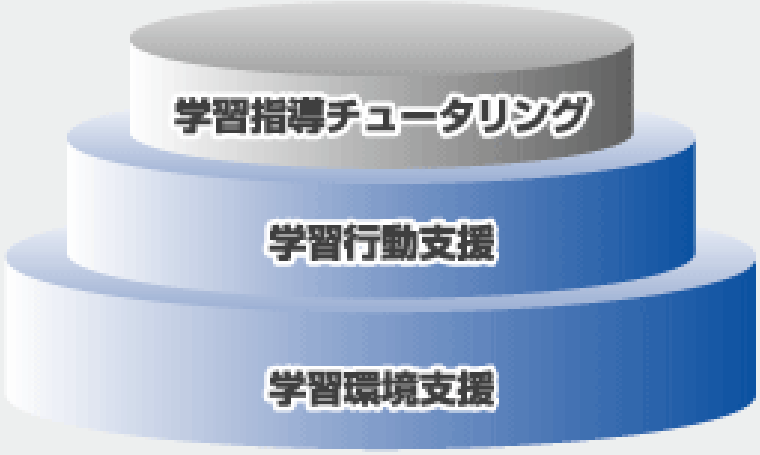


学生の支援体制

受講者支援サービス

学習行動支援・・・学習者に目標と正確な情報を提示し学習行動がスムーズになるように支援

学習環境支援・・・学習者のパソコン環境、生活環境などの学習阻害要因によるモチベーションの低下を食い止める支援



教員の支援体制

サポート内容

分類	サポート内容	作業概要
教員の皆様に対するスキル研修	PC操作基礎研修	パソコンが苦手という教員の方へ、実際にパソコンを利用した集合研修の形態で操作基礎研修を実施します。
	eラーニングソフト利用研修	本学で利用するeラーニングソフトウェアの利用方法についての集合研修を実施します。
	インストラクショナルデザイン研修	eラーニングソフトウェアを利用して教育するに当たって、より教育効果を高めるための教授法について討議・研修します。
	個別操作研修	本学で利用するeラーニングソフトウェアの利用方法について、一対一の個別での研修を実施します。
業務の支援	スクーリング教室準備＆稼動監視	スクーリング履修科目にて利用する教室の事前準備を行い、配信されている授業の正常稼動をネット経由で2箇所から監視します。
	教員パソコンの設定	常勤教員のパソコンのLAN接続、eラーニングソフトウェア、OS、セキュリティソフトの設定を実施します。
	質問へのご回答	ご質問を受け付け、回答いたします。
	トラブル時の対応	ネットワーク障害、システム障害などのトラブル時に、復旧作業を実施します。
作業の代行	操作の代行 (メンタリング助手)	担当の助手を手配し、以下の作業を実施します。 ・定常的に学生からの質問をウォッチして、質問があった場合には教員の望む方法（電話、FAX、対面）でお知らせする。 ・教員が質問回答した場合、これをLMSにより返信代行する。 ・レポートやテスト時にはその期間、作業を上記と同じく代行する。 ・単位認定や成績処理時にもその期間、作業を上記と同じく代行する。
	操作の代行 (スクーリング助手)	担当の助手を手配し、以下の作業を実施します。 ・授業前に教員と打ち合わせをして段取りを決める。 ・助手は必要であればメディアセンターと連携して授業素材を用意する。 ・教員が授業を実施する際に、教室に居て授業配信ソフトを操作する。
	基礎授業素材制作代行	ワープロ（MicrosoftOfficeシリーズ等）を利用した、スクーリング授業配信時の背景画像や、素材の製作を代行します。
	高度授業素材制作代行	ワープロでは実現できない、ビデオ映像や三次元映像、アニメーションなどの説明素材の製作を代行します。

大学施設見学

学校見学

◎大学へ

横浜駅より徒歩 10分

入館口

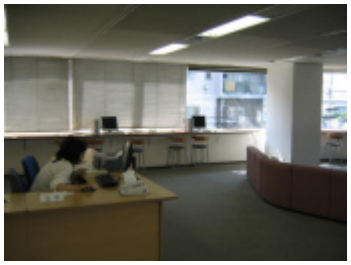
入館口

エントランス

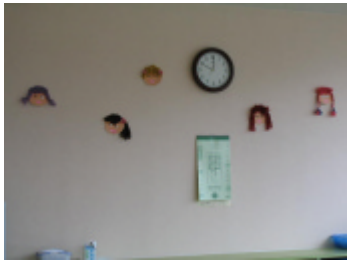
各階ロビー

◎施設は？図書館 ・ナーサリー

図書館入り口



受付



ナーサリー

ナーサリー

大講堂

学校見学

◎システム運用センター

入館口

センター内

学生・教員との相談エリア

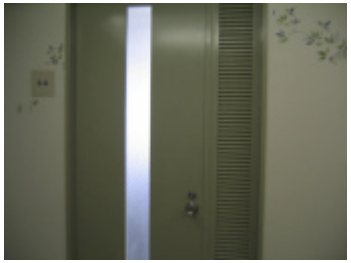
構内LAN管理ラック

iDC専用線接続機器

学校見学

◎教室の環境

エレベータで昇って・・・

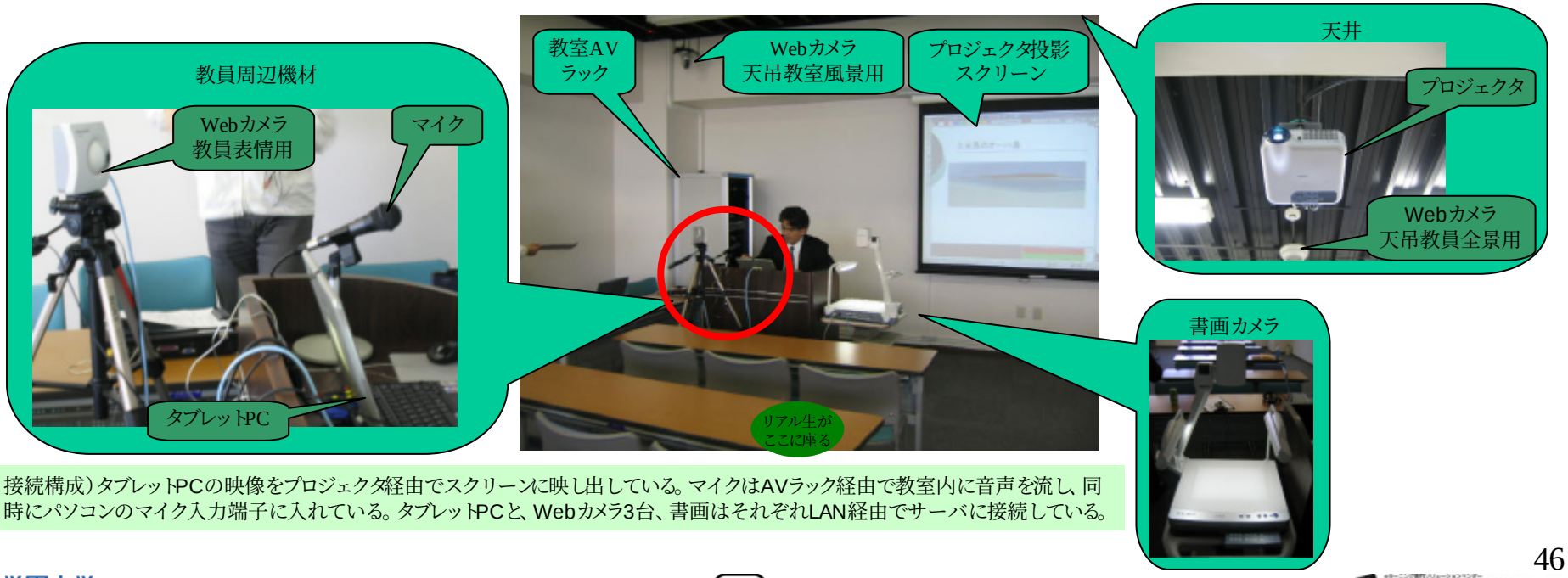


教室ドア

教室に入ると

教室の窓からはみなとみらい

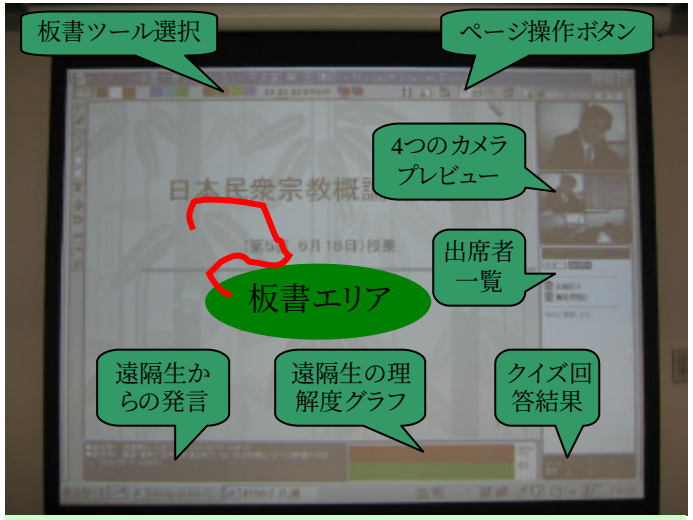
教室AVラック



接続構成）タブレットPCの映像をプロジェクタ経由でスクリーンに映し出している。マイクはAVラック経由で教室内に音声を流し、同時にパソコンのマイク入力端子に入れている。タブレットPCと、Webカメラ3台、書画はそれぞれLAN経由でサーバに接続している。

学校見学

◎授業方法



教員の操作するPC画面。操作はマウスの代わりにペンを利用

授業操作している風景

教員とプロジェクタと学生の関係。リアル生はスクリーンを見る

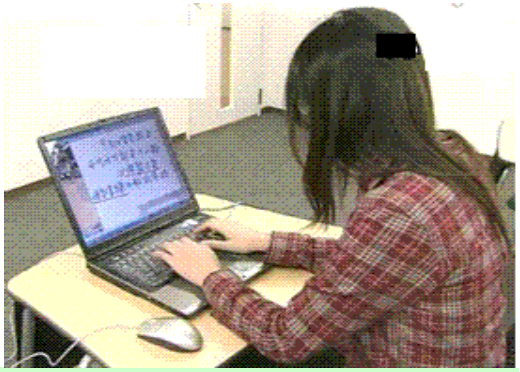
教員の授業環境（PC周り）

教員の授業風景

教員は「リアル生」と「遠隔生」に対して板書をしながら講義を実施する。遠隔生を意識するために「出席者一覧」「発言エリア」「理解度グラフ」などを見ながらの授業となる。

受講生側

◎受講風景



学生は自宅でパソコンの前で、ネット上の他受講生と同じ教室で学習する。

学生は授業の映像と板書、出席者一覧や発言を見ながら臨場感豊かに学習する。

学生は授業中に教員に 発言」ができ、これをチャットのように入力できる

学生は授業中に、「!」や「?」を入力することで、自分の理解度を入力できる。

学生の理解度を平均した値を時系列にしたグラフが教員画面に現れる。